

南知多町保育所再配置計画

令和2年3月

南知多町

目 次

第1章 計画の策定に当たって	1
1 計画策定の趣旨	1
2 国等の動向	1
3 計画の期間と対象	2
第2章 保育所の施設の現状と課題	3
1 保育所の施設の現状	3
2 南知多町の子どもの状況	4
3 アンケート調査の結果	8
4 ヒアリング調査の結果	15
5 保育所施設の立地状況	17
第3章 保育所の児童数の現状と将来推計	18
1 保育所の施設児童数の現状	18
2 各保育所の配置状況と通園距離について	25
3 教育・保育ニーズ量の将来推計	26
第4章 保育所の施設整備・再配置計画	28
1 基本的な考え方	28
2 施設整備の進め方	29
3 保育所別の状況と具体的方向性	29
4 施設ごとの年次整備計画	36
5 年次整備計画以外の整備について	36
6 計画の推進	37

1 計画策定の趣旨

本町には、令和2年3月末現在、就学前児童の教育・保育施設として、公立保育所が5か所、私立保育園が1か所あります。

これらの保育所のうち、老朽化が著しい施設などもあり、今後、施設の全面改築や大規模改修を行う必要があります。

また、人口減少や少子化の中で、現在の保育所の児童数を見ると、入園児童数の減少により、定員を大幅に下回っています。

このような中、就学前児童への安全・安心な教育環境・保育環境を確保していくためには、計画的に施設の長寿命化や適正配置を図る必要があります。

こうしたことを踏まえ、町内保育所の老朽化に伴う整備に合わせて、今後の教育・保育ニーズにも対応していく必要があります。このため、就学前児童数や教育・保育ニーズ量の将来推計に基づいて、再配置や統廃合等を視野に入れ、教育・保育の需要と供給のバランスも考慮しながら、効率的・効果的な整備を行うための基本計画となる『南知多町保育所再配置計画』を策定します。

2 国等の動向

近年、公共施設の老朽化に伴う死亡事故が発生していることを受け、国は平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、公共施設の管理に係る方針を公共施設等の老朽化対策、長寿命化、安全確保に大きくシフトしています。

こうしたことから、総務大臣は、平成26年4月に地方版の行動計画である「公共施設等総合管理計画」の策定を地方公共団体に対して要請しました。

これを受け、本町において、平成29年3月に策定した「南知多町公共施設等総合管理計画」を踏まえ、町内保育所の老朽化対策、長寿命化、安全確保についても検討をしていきます。

また、国では、平成24年8月に「子ども・子育て支援法」をはじめとする子ども・子育て関連3法が成立され、平成27年4月から幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進める「子ども・子育て支援新制度」をスタートさせました。また、令和元年5月の子ども・子育て支援法一部改正に伴い、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が実施され、子どもや子育て家庭を支援する新しい制度の構築が進んでいます。こうした制度を構築し、推進する上で、子どもを権利の主体と位置づけながら「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指すことが基本となっています。

3 計画の期間と対象

本計画の期間は、令和2年度からのおおよそ15年間から20年間の計画とし、社会経済情勢の変化に対応するため中間見直しを行います。

また、本計画の対象は、内海保育所、かるも保育所、大井保育所、師崎保育所、日間賀保育所、私立篠島保育園の6施設とします。

第 2 章

保育所の施設の現状と課題

1 保育所の施設の現状

(1) 保育所の施設の概要

平成 31 年 4 月 1 日現在

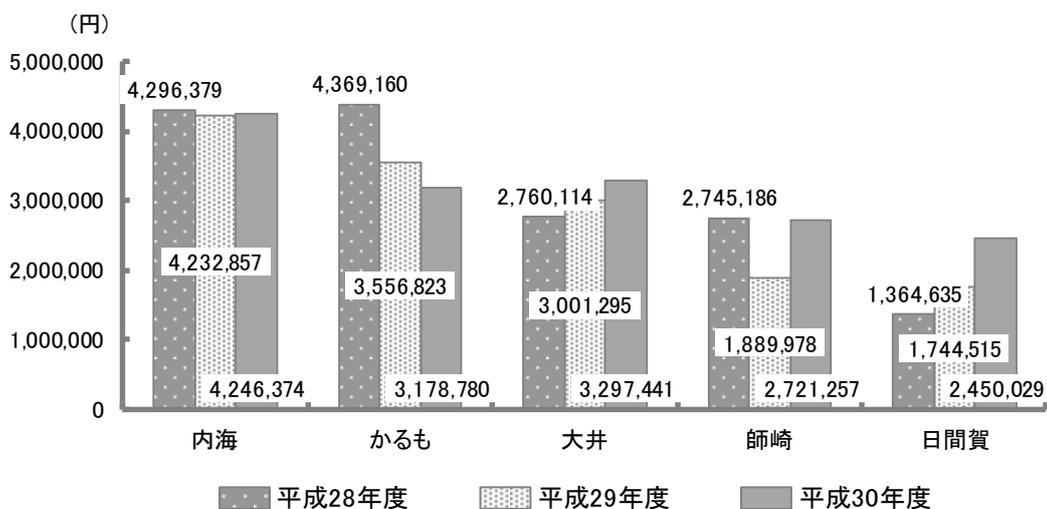
施設名	定員	建築年月	経過年数	構造 (階)	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)
内海保育所	170 名	H1. 3	30 年	鉄筋コンクリート (2)	3,290.2	1,036.6
かるも保育所	100 名	S54. 3	40 年	鉄筋コンクリート (2)	2,211.0	599.3
大井保育所	90 名	H5. 3	26 年	鉄筋コンクリート (2)	2,013.0	575.9
師崎保育所	90 名	S59. 11	34 年	鉄筋コンクリート (2)	2,000.0	781.1
日間賀保育所	90 名	S48. 2	46 年	木造 (1)	1,704.8	580.3
篠島保育園	60 名	S63. 3	31 年	鉄筋コンクリート (2)	1,632.0	605.8

(2) 維持管理経費の状況

各保育所の光熱水費、修繕費、清掃、警備保障の委託料等の維持管理経費の 3 年間の推移は次のグラフになります。

内海保育所の維持管理経費が平成 28 年度から 400 万円以上となっています。

維持管理経費の推移



(3) 大規模改修費の状況

大規模改修費とは、施設の老朽化に対する外壁や屋根、内部等の改修工事費をいいます。平成 28 年度から 3 施設で大規模改修を実施しています。

大規模改修費の状況

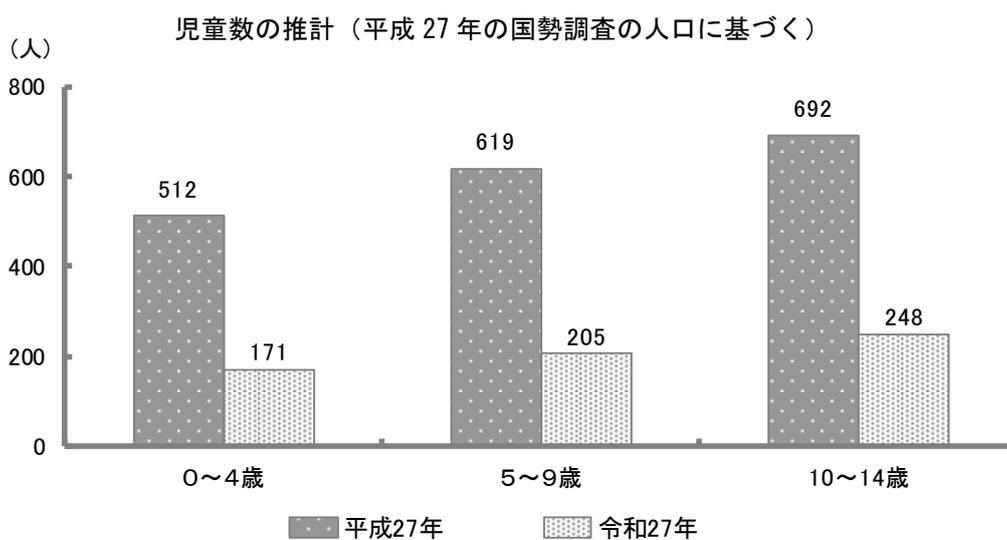
施設名	実施年度	改修費	改修箇所
大井保育所	平成 28 年度	16,933,000 円	外部改修（屋根・外壁塗装） 内部改修（保育室・廊下床張替・壁塗装）
日間賀保育所	平成 29 年度	5,097,000 円	2 歳児保育開設のための整備 保育室・ほふく室改修 （床張替・壁と天井塗装・手洗い場設置） 沐浴室改修 （シャワーブース・手洗い場・トイレ設置）
かるも保育所	平成 30 年度	27,703,080 円	外部改修（屋根・外壁塗装） 内部改修（保育室・廊下床張替）

2 南知多町の子どもの状況

(1) 児童数の推計と推移

① 児童数の推計

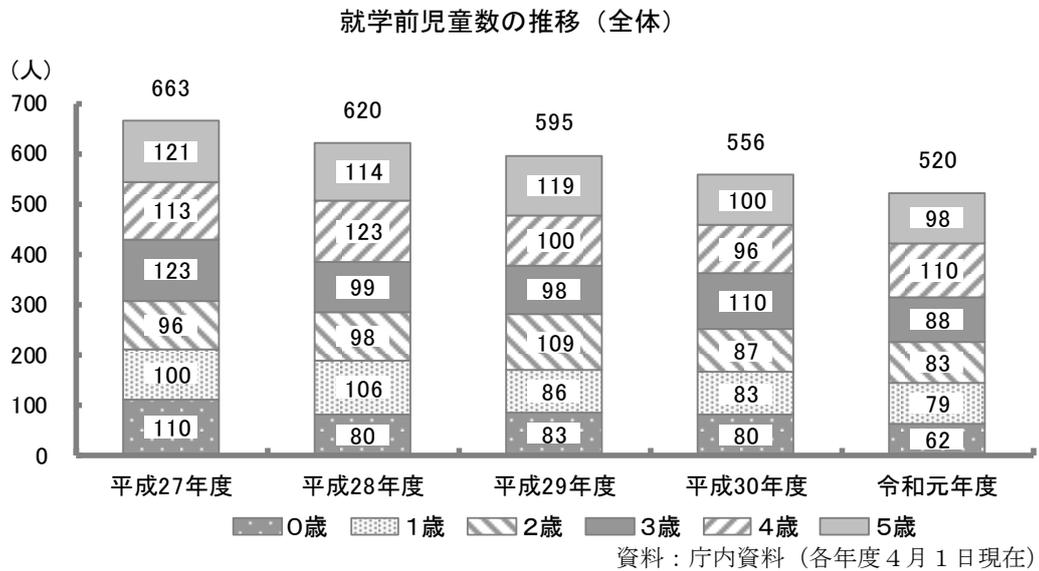
本町の児童数の将来推計について、平成27年の国勢調査を基に推計した結果、令和27年ではすべての年代で減少すると予測しています。



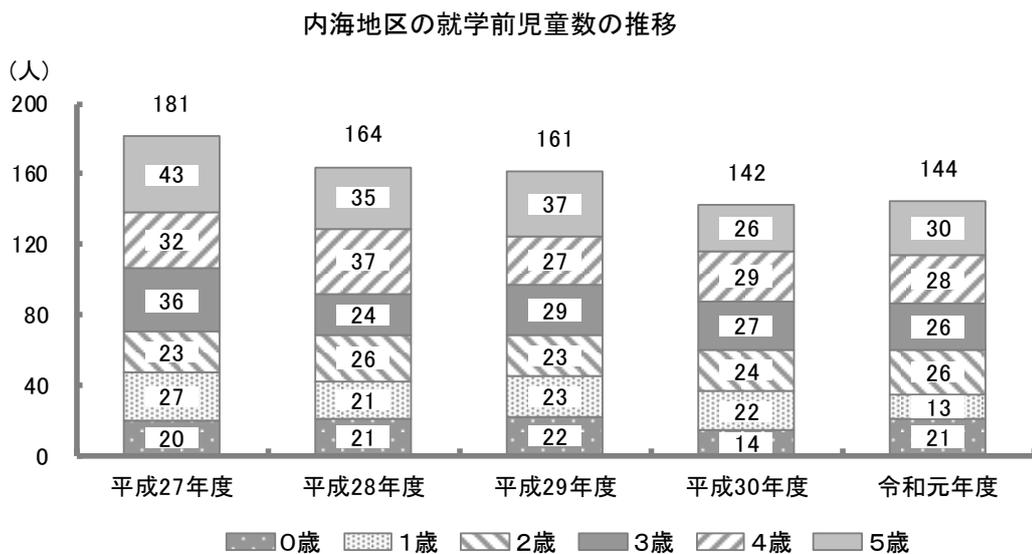
資料：庁内資料

②就学前児童数の推移

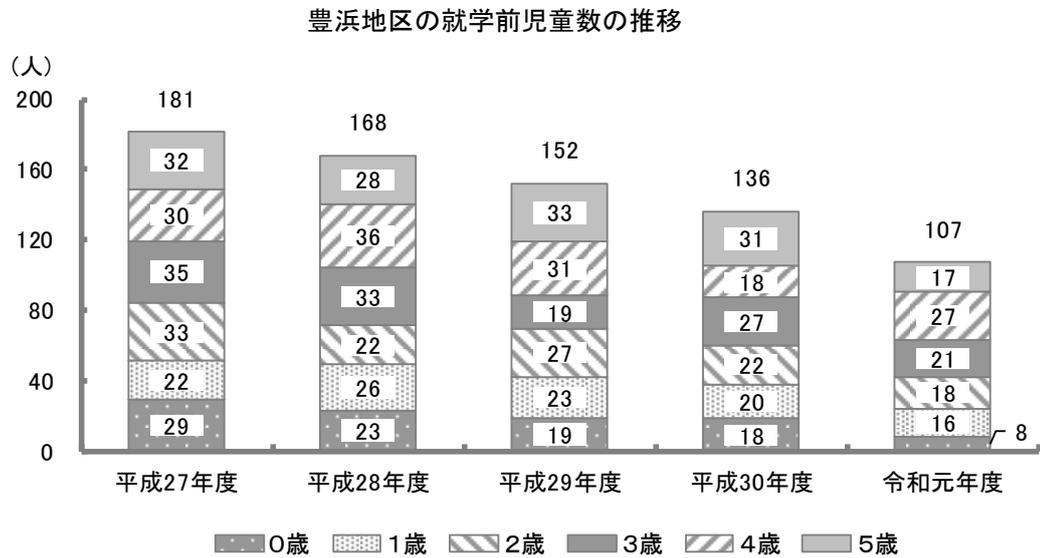
本町の就学前児童数は、年々減少し、令和元年度では520人となっています。特に0歳児では、平成27年度から令和元年度の5年間で48人減少しており、他の年代と比較すると大幅に減少しています。



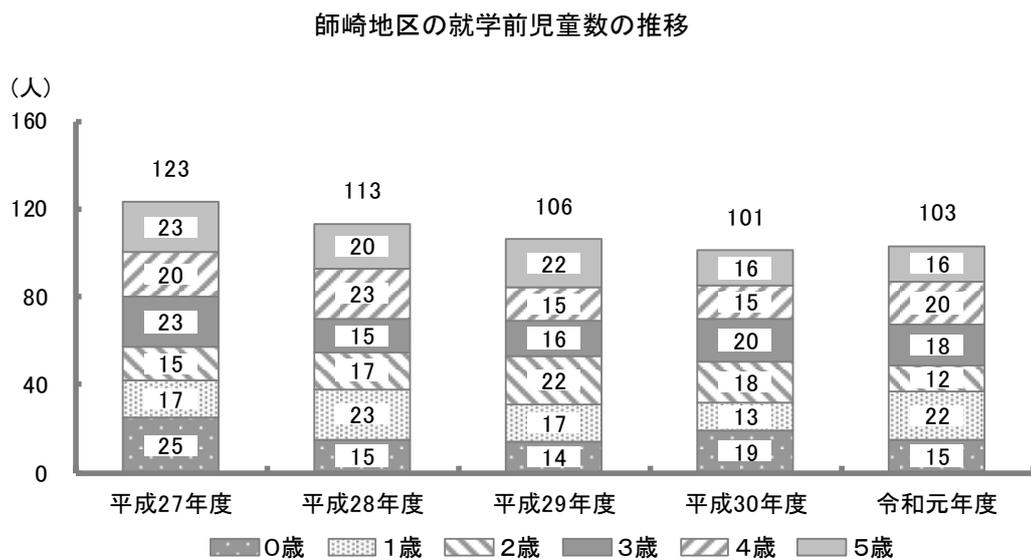
内海地区の就学前児童数は、年々減少し、令和元年度では144人となり、平成27年度から37人減少しています。



豊浜地区の就学前児童数は、年々減少し、令和元年度では107人となり、平成27年度から74人減少しています。

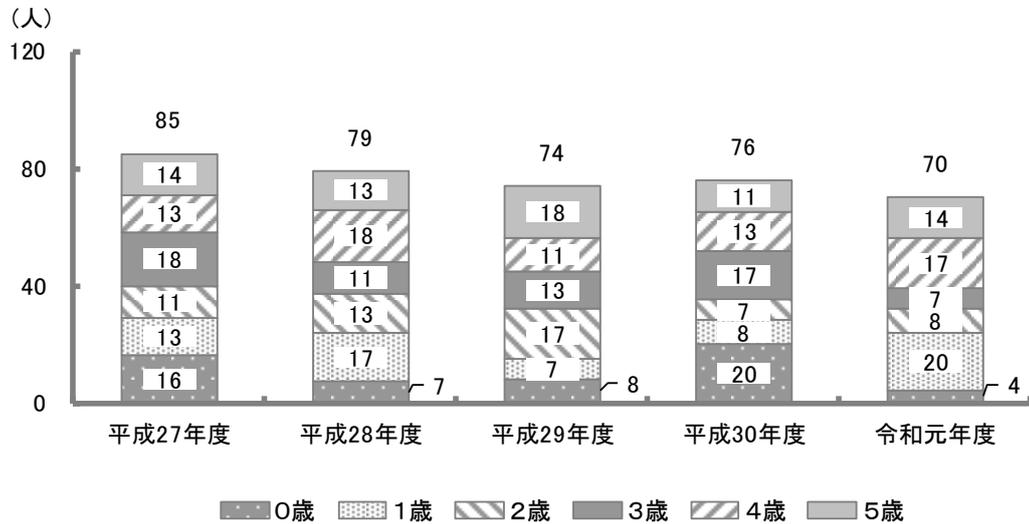


師崎地区の就学前児童数は、減少傾向にあり、令和元年度では103人となり、平成27年度から20人減少しています。



篠島地区の就学前児童数は、減少傾向にあり、令和元年度では70人となり、平成27年度から15人減少しています。

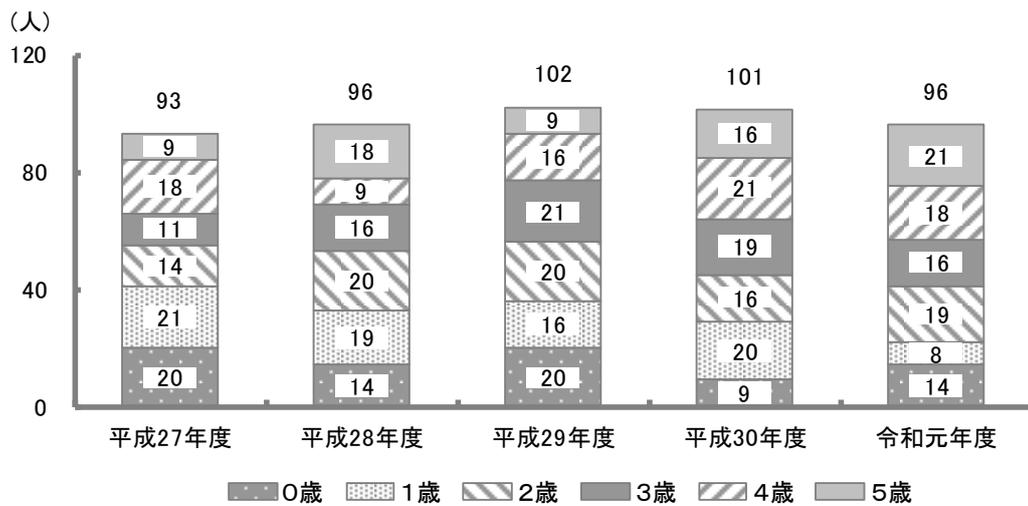
篠島地区の就学前児童数の推移



資料：庁内資料（各年度4月1日現在）

日間賀島地区の就学前児童数は、平成27年度以降ほぼ同じで、令和元年度では96人となっています。

日間賀島地区の就学前児童数の推移



資料：庁内資料（各年度4月1日現在）

3 アンケート調査の結果

(1) 調査の概要

①調査目的

「子どもの人口減少」、「核家族化と共働きによる家庭環境の変化」、「子育てに対する不安」など社会問題や社会の変動に伴う利用者の多様なニーズに応えるため、今後の南知多町の保育形態や保育所の統廃合など、保育所のあり方について検討し、よりよい保育を実施するための資料とする。

②調査対象

南知多町内の保育所に通園している子どもの保護者

③調査期間

令和元年10月1日から10月11日

④調査方法

保育所による配布・回収

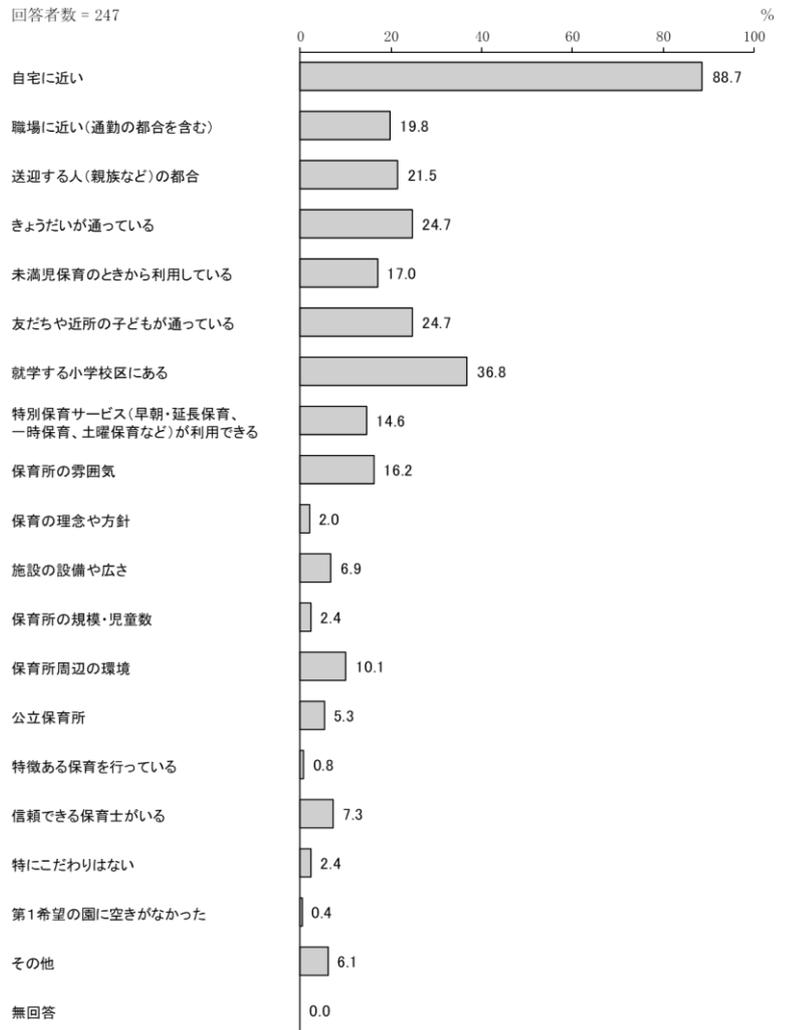
⑤回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
316通	247通	78.2%

(2) 調査の主な結果

○保育所を選ぶときに重視することについて（複数回答）

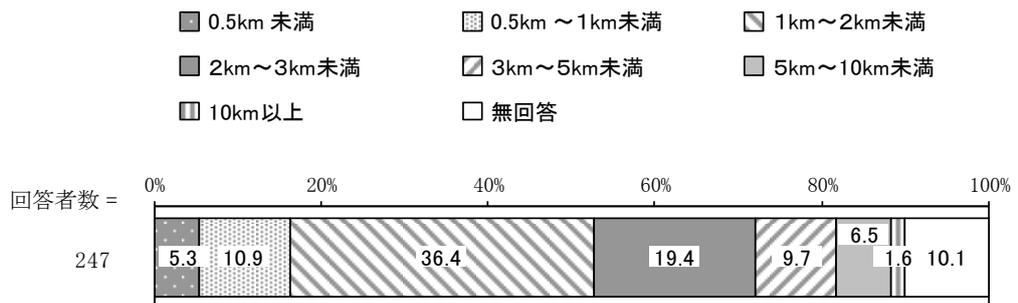
「自宅に近い」の割合が88.7%と最も高く、次いで「就学する小学校区にある」の割合が36.8%、「きょうだいがいる」、「友だちや近所の子どもが通っている」の割合が24.7%となっています。



○自宅から保育所までの距離と通園方法について

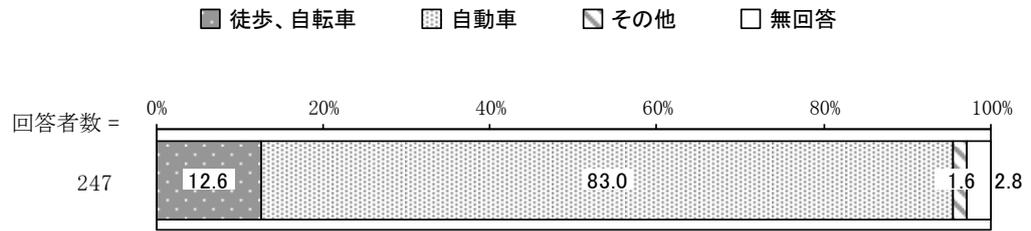
【自宅から保育所までの距離】

「1km～2km未満」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2km～3km未満」の割合が19.4%、「0.5km～1km未満」の割合が10.9%となっています。



【主な送迎の方法】

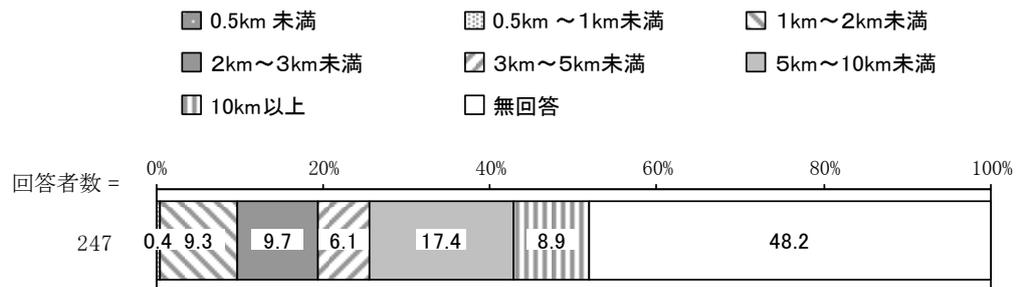
「徒歩、自転車」の割合が12.6%、「自動車」の割合が83.0%となっています。



○優先して預けたい保育所がある場合の送迎可能距離

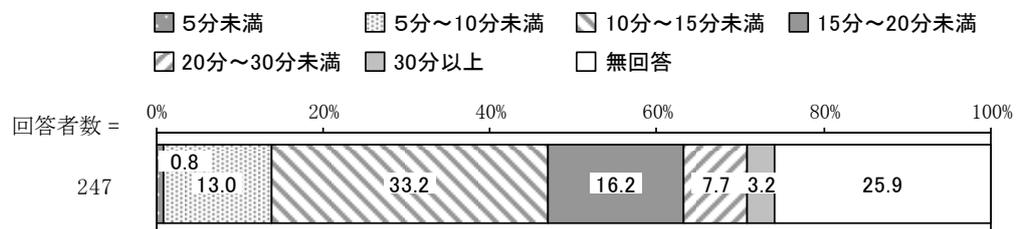
【自宅から保育所までの距離】

「5km～10km未満」の割合が17.4%と最も高くなっています。



【時間】

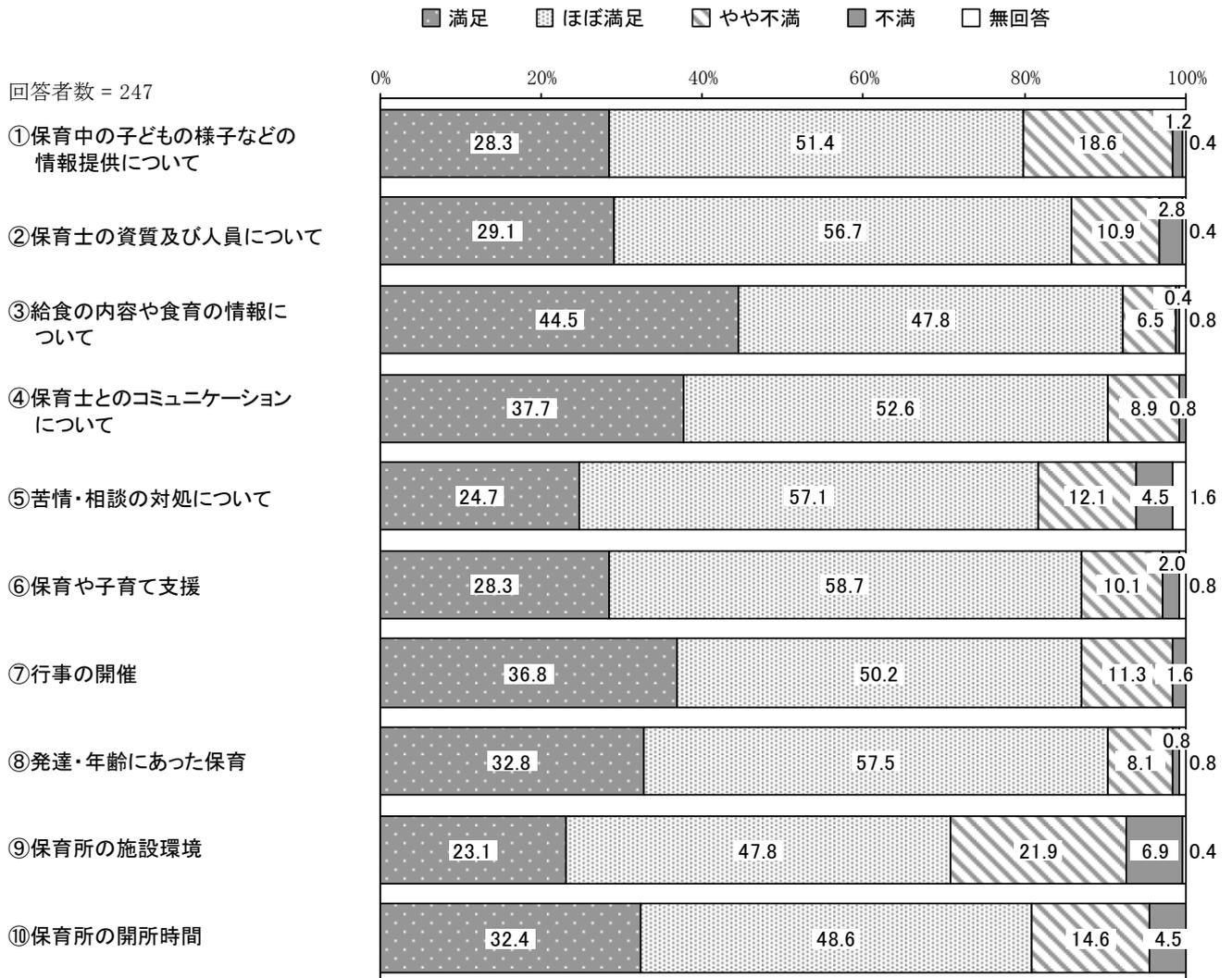
「10分～15分未満」の割合が33.2%と最も高く、次いで「15分～20分未満」の割合が16.2%、「5分～10分未満」の割合が13.0%となっています。



○保育所の満足度と重要度について

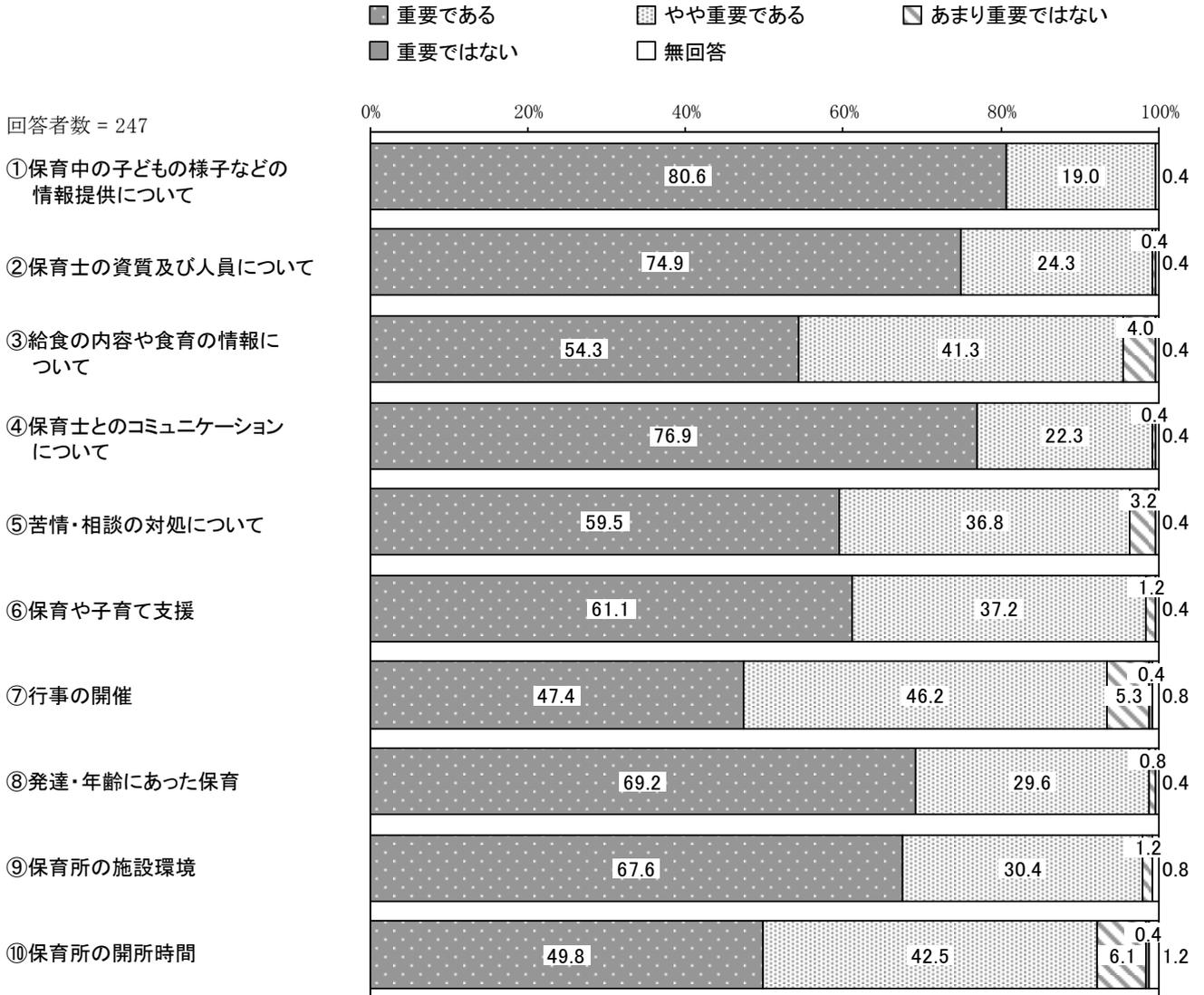
【満足度】

③給食の内容や食育の情報について、④保育士とのコミュニケーションについて、
⑧発達・年齢にあった保育で「満足」と「ほぼ満足」をあわせた“満足”の割合が高く、9割を超えています。一方、⑨保育所の施設環境で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約3割となっています。



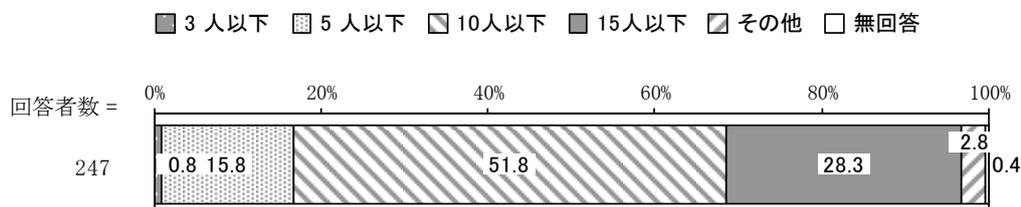
【重要度】

すべての項目で「重要である」と「やや重要である」をあわせた“重要である”の割合が高く、9割を超えています。



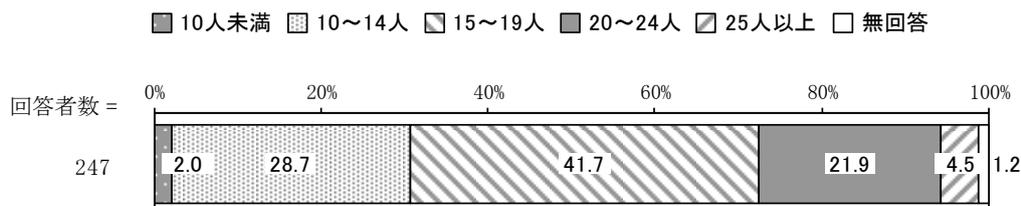
○同年齢の入所児童数が少ないと感じる人数について

「10人以下」の割合が51.8%と最も高く、次いで「15人以下」の割合が28.3%、「5人以下」の割合が15.8%となっています。



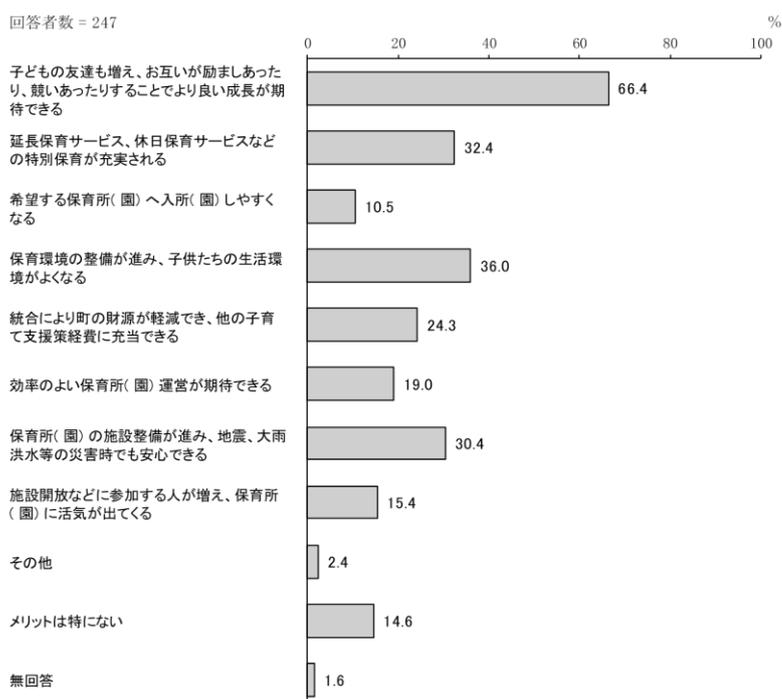
○1クラスの適正な人数について

「15～19人」の割合が41.7%と最も高く、次いで「10～14人」の割合が28.7%、「20～24人」の割合が21.9%となっています。



○保育所（園）を統廃合する場合のメリットまたは期待することについて

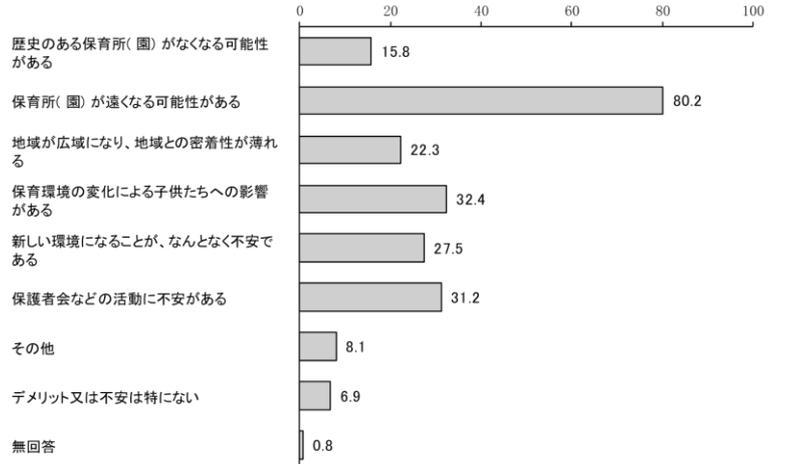
「子どもの友達も増え、お互いが励ましあったり、競いあったりすることでより良い成長が期待できる」の割合が66.4%と最も高く、次いで「保育環境の整備が進み、子供たちの生活環境がよくなる」の割合が36.0%、「延長保育サービス、休日保育サービスなどの特別保育が充実される」の割合が32.4%となっています。



○保育所（園）を統廃合する場合のデメリット又は不安について

「保育所（園）が遠くなる可能性がある」の割合が80.2%と最も高く、次いで「保育環境の変化による子供たちへの影響がある」の割合が32.4%、「保護者会などの活動に不安がある」の割合が31.2%となっています。

回答者数 = 247

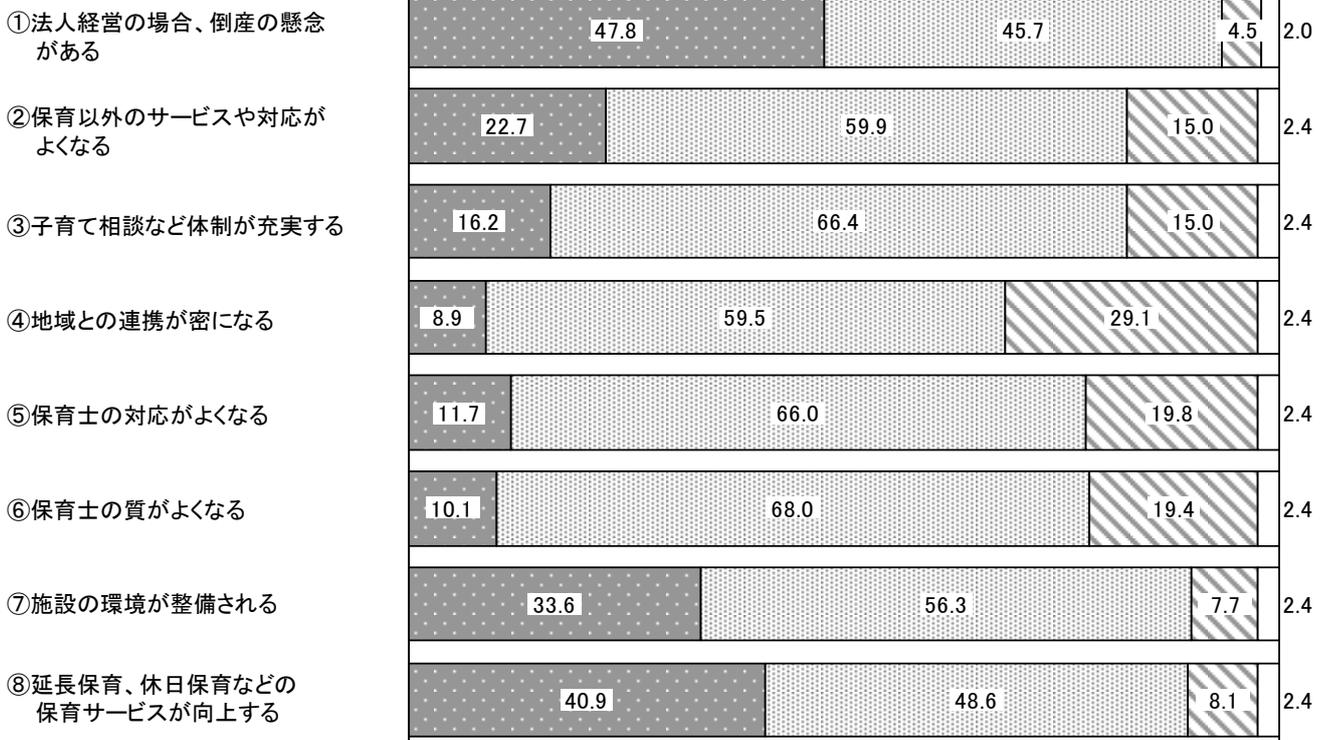


○保育所の民営化について感じる事

①法人経営の場合、倒産の懸念があるで「思う」の割合が高く、約5割となっています。一方、④地域との連携が密になるで「思わない」の割合が高く、約3割となっています。

■ 思う ■ どちらとも言えない ■ 思わない □ 無回答

回答者数 = 247



4 ヒアリング調査の結果

(1) 調査の概要

①調査目的

令和元年10月に実施した「保育所保護者向けアンケート調査」の結果及び概要を報告し、地域特性に応じた保育所再配置や保育サービス等に関する期待や不安、課題等を把握する。

②調査対象

各保育所保護者会役員及び保護者

(2) 結果内容

①内海保育所

○開催日時：令和元年11月5日（火）午後2時～

○参加人数：6名

【主な意見】

- ・保育所と同時に、小学校・中学校の統合はどうするのかという意見がある。
- ・統合する目安はあるのか。
- ・送迎のバスは考慮されているのか。
(町の回答) 保育所のため、延長、早朝などあり、時間を合わせてということは難しいと思っている。町としてバスを出すことは難しい。
- ・内海保育所は建てられてどのくらいになるのか。
(町の回答) 平成元年に建物が建てられた。30年経過している。これから長く使うとなると、大きな改修は行っていかないといけないと考えている。
- ・統合することにより、子どもが減るのではないか。子育てしづらいから他の市町村に移ってしまうこともあるのではないか。人口の流出は止められるのではないか。

②かるも保育所

○開催日時：令和元年11月5日（火）午前10時～

○参加人数：6名

【主な意見】

- ・保育園、小学校、中学校が1つになっている施設があればいい。
- ・新たな施設の立地条件は、津波、交通の面を考えていく事が重要である。
- ・送迎の問題がある。バスの時間が問題。
- ・中学校、高校を考えた整備が必要だと思う。

③大井保育所

○開催日時：令和元年11月7日（木）午前10時～

○参加人数：6名

【主な意見】

- ・師崎との統合では、駐車場の確保について、親の数も増える。すれ違いの事故などが気になる。小さい子どもを連れて危なくないようにしてほしい。
- ・南知多町で1園になると、地区ごとでお祭りやイベントなどをやっており、薄れていく気がする。
- ・豊浜へ移転となると、10分、15分でも子どもと一緒にだと時間がかかってしまう。車で行けるとことだとどこでもよいが、車がない人もいる。

④師崎保育所

○開催日時：令和元年11月18日（月）午前10時～

○参加人数：8名

【主な意見】

- ・距離が遠くなるのであれば延長保育への配慮をしてほしい。
- ・マイクロバスを走らせてほしい（延長、早朝は個別対応で各人で対応してもらおう）、小さなバンや軽などでもいい。
- ・大井との統合については駐車場が確保できているのか（送迎の仕方がもう少し具体化したら詳細を教えてください）
- ・現状の施設は統合以降は何に使うのか。学童クラブ等に使えないか。

⑤日間賀保育所

○開催日時：令和元年11月12日（火）午後2時～

○参加人数：12名

【主な意見】

- ・移動の問題で、時間を決めて移動をするのは、小さい子どもがいる所では難しい。急病の時にも対応ができない。
- ・日間賀島だからやってほしいサービスや行事などがある。子どものためにやってほしいもの、経験させたいことがある。
- ・日間賀保育所の建物は古いので建替の予定はあるのか。
(町回答) 10年後くらいをみると、大規模修繕、改築等を行っていかねばいけないと考える。
- ・運動場も砂がなく、硬くなってきている。

⑥篠島保育園

○開催日時：令和元年11月12日（火）午前10時～

○参加人数：7名

【主な意見】

- 船での移動は、保育園、小学校は絶対に無理である。
- 統廃合は、島は別に考えてほしい。

5 保育所施設の立地状況

施設名	小学校区	所在地	立地状況	課題
内海保育所	内海小学校	内海字兼井 170-3	市街化区域に立地している	現在の駐車場は間口が狭く登降所時に混雑することがある。令和2年度以降、保育所前用地を駐車場に整備予定であるため解消される。
かるも保育所	豊浜小学校	豊浜字上之山 13-4	市街化区域に立地している	周辺の道路と駐車場が狭いため、登降所時に付近の道路が混雑する。園舎東側が土砂災害警戒区域に指定されている。
大井保育所	大井小学校	大井字塩屋 23	市街化区域に立地している	駐車場が狭いため周辺道路に駐車することが多い。登降所時に付近の道路が混雑する。園舎北側が土砂災害警戒区域に指定されている。
師崎保育所	師崎小学校	片名字新師崎 9-1.9-2	市街化区域に立地している	駐車場が狭いため周辺道路に駐車することが多い。登降所時に付近の道路が混雑する。海に面しており、津波災害警戒区域に指定されている。
日間賀保育所	日間賀小学校	日間賀島字三ツ林 7-7	都市計画区域外	駐車場がないため、登降所時にバイク等で混雑しやすい。
篠島保育園	篠島小学校	篠島字照浜 27	都市計画区域外	周辺の道路が狭いため、登降園時にバイク等で混雑しやすい。高台に建設されており、急傾斜地のため土砂災害警戒区域に指定されている。

第 3 章

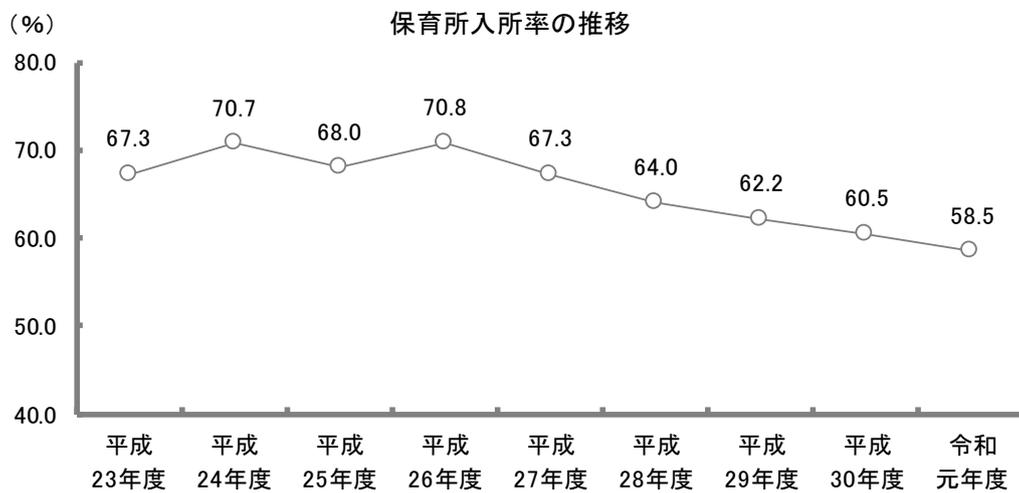
保育所の児童数の現状と将来推計

1 保育所児童数の現状

(1) 保育所の状況

①保育所入所率の推移

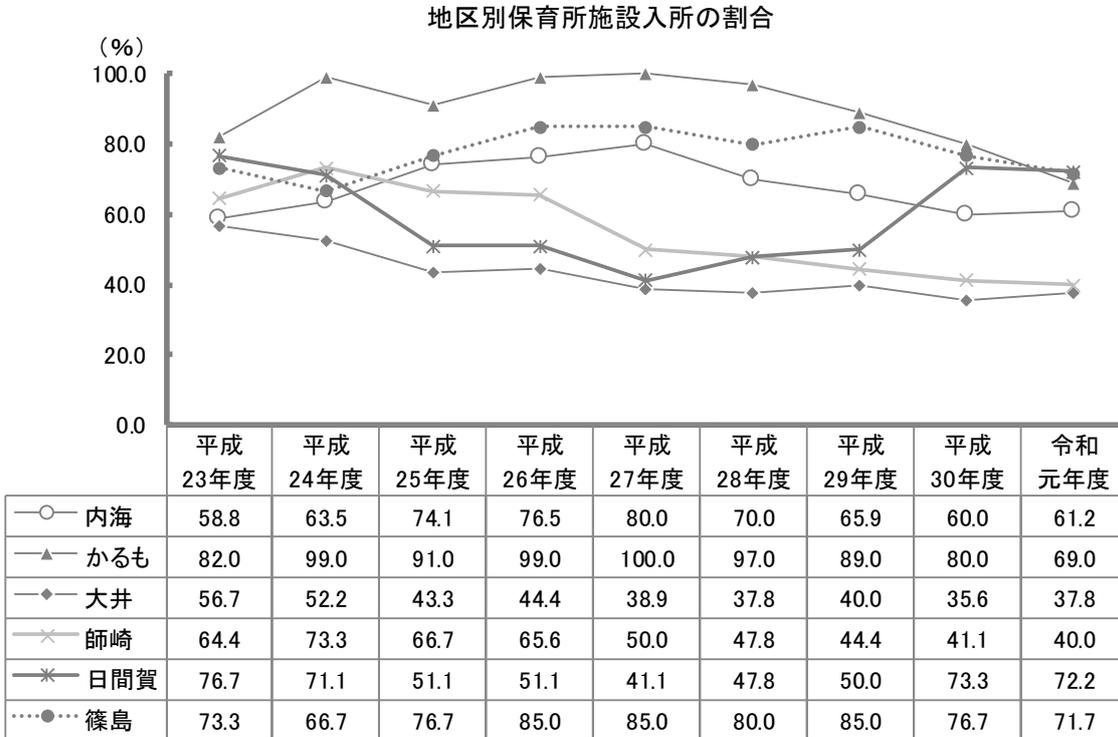
本町の保育所入所率は、平成26年度より年々低下し、令和元年度では58.5%となっています。(私的契約児含む。)



資料：庁内資料（各年度4月1日現在）

②地区別保育所施設入所の割合

本町の地区別保育所施設入所の割合は、令和元年度では日間賀地区が72.2%、篠島地区が71.7%、かるも地区で69.0%となっています。（私的契約児含む。）



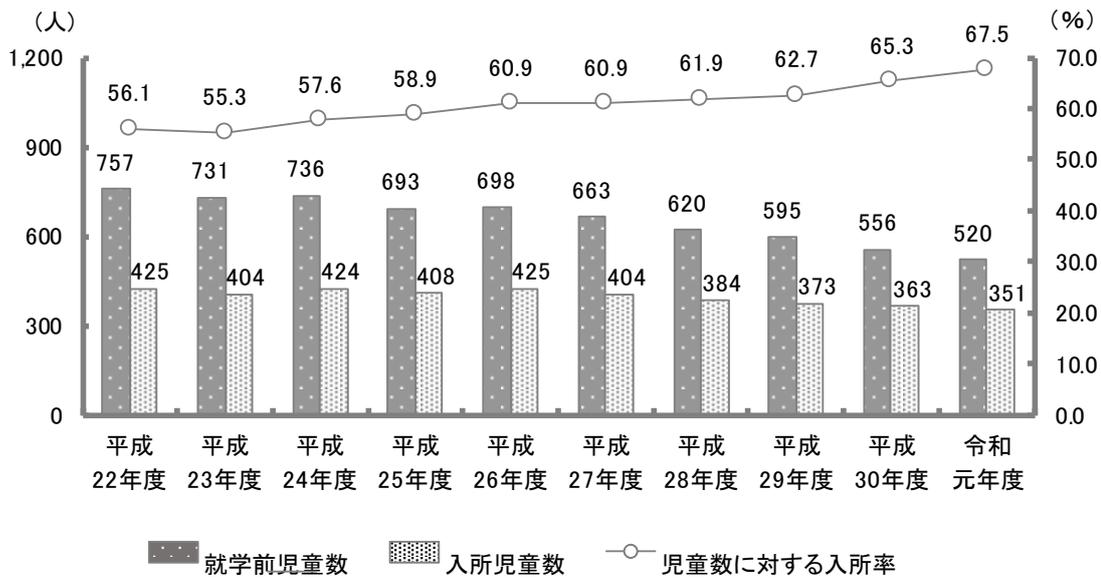
資料：庁内資料（各年度4月1日現在）

③就学前児童数と保育所入所児童数の推移

本町の就学前児童数と保育所入所児童数はともに、平成26年度より減少し、令和元年度では就学前児童数は520人、保育所入所児童数は351人となっています。

児童数に対する入所率は、平成23年度より年々上昇し、平成26年度では60%を超え、令和元年度で67.5%となっています。（私的契約児含む。）

学齢前児童数と保育所入所児童数の推移

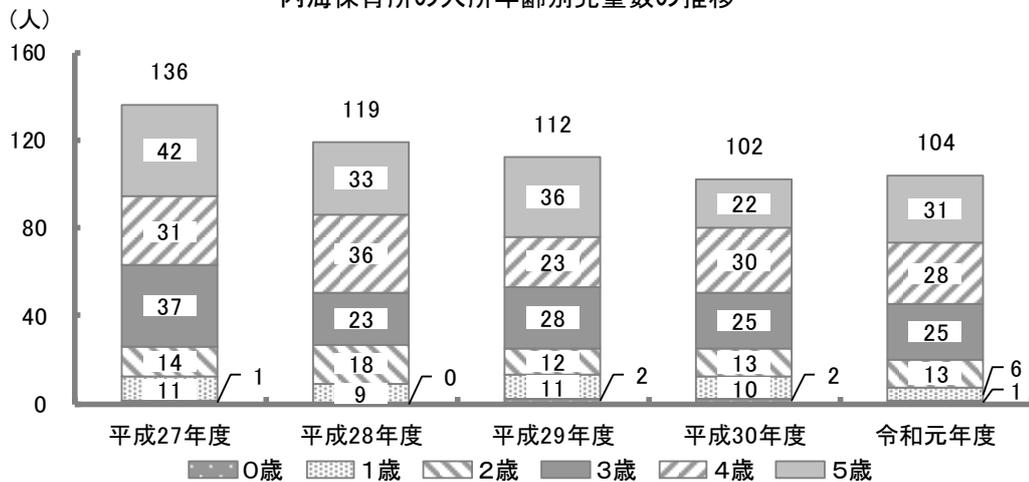


資料：庁内資料（各年度4月1日現在）

④保育所別入所年齢別児童数の推移

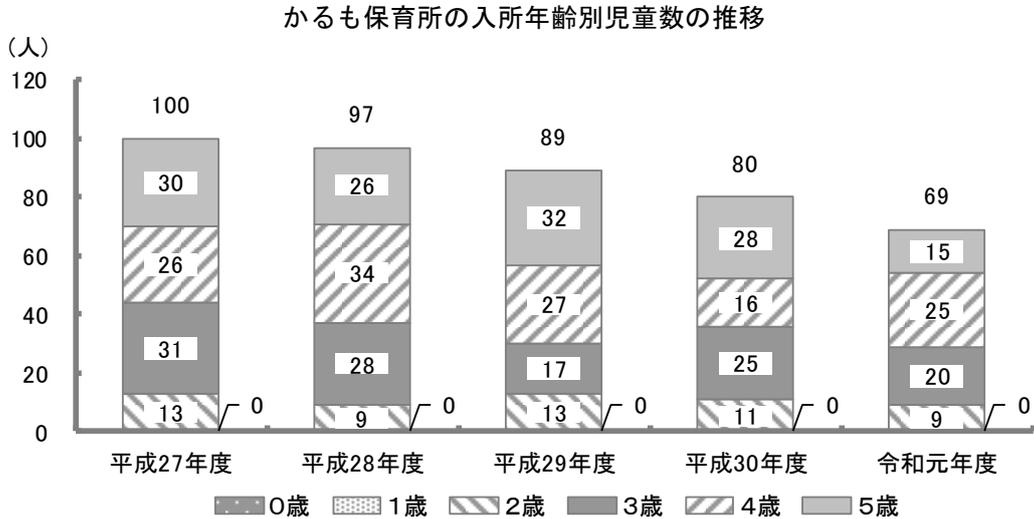
内海保育所の入所年齢別児童数は、減少傾向にあり、令和元年度では104人で、他の保育所と比較すると最も少なくなっています。（私的契約児含む。）

内海保育所の入所年齢別児童数の推移



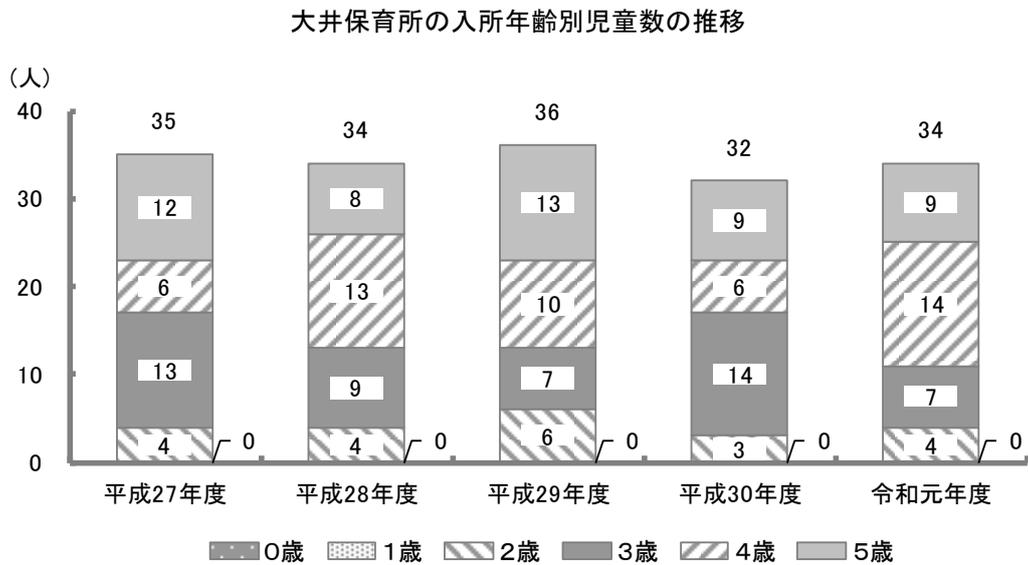
資料：庁内資料（各年度4月1日現在）

かるも保育所の入所年齢別児童数は、減少傾向にあり、令和元年度では69人となっています。（私的契約児含む。）



資料：庁内資料（各年度4月1日現在）

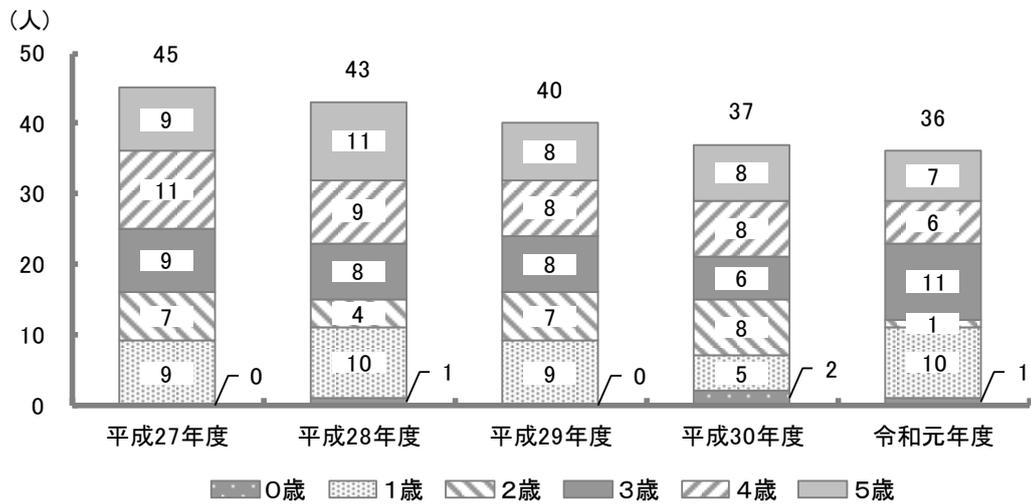
大井保育所の入所年齢別児童数は、増減を繰り返し、令和元年度では34人で他の保育所と比較すると最も低い値となっています。（私的契約児含む。）



資料：庁内資料（各年度4月1日現在）

師崎保育所の入所年齢別児童数は、減少傾向にあり、令和元年度では36人となっています。（私的契約児含む。）

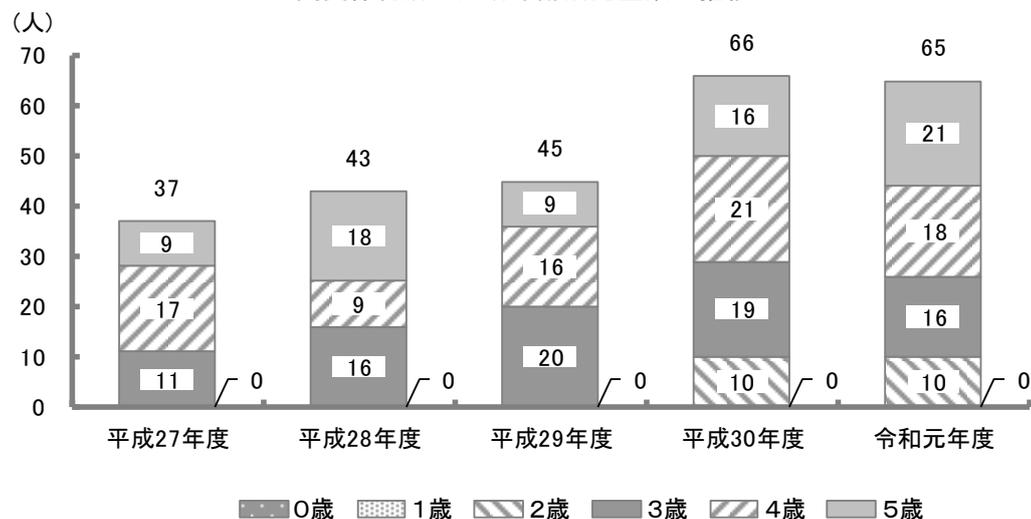
師崎保育所の入所年齢別児童数の推移



資料：庁内資料（各年度4月1日現在）

日間賀保育所の入所年齢別児童数は、平成30年度から2歳児保育を開始したため、平成29年度より大幅に増加し、令和元年度では65人となっています。（私的契約児含む。）

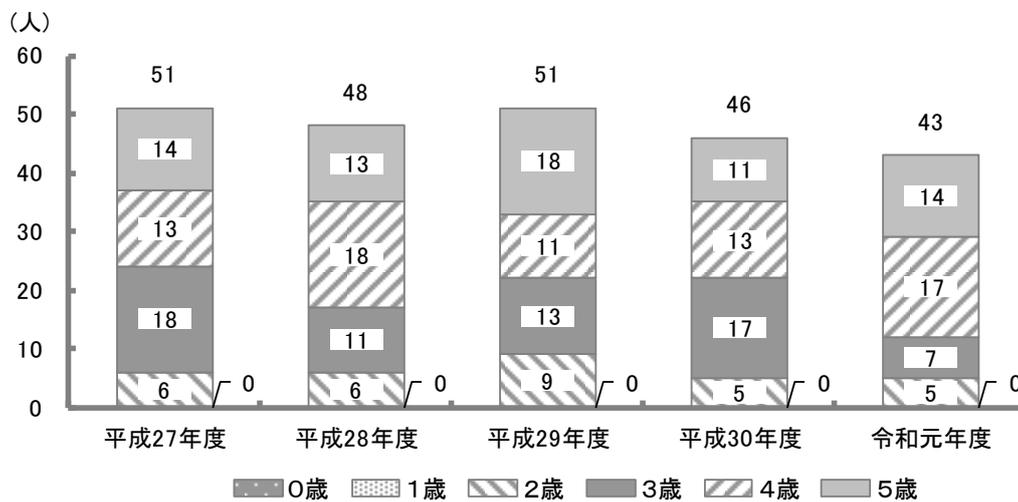
日間賀保育所の入所年齢別児童数の推移



資料：庁内資料（各年度4月1日現在）

篠島保育園の入所年齢別児童数は、減少傾向にあり、令和元年度では43人となっています。

篠島保育園の入所年齢別児童数の推移

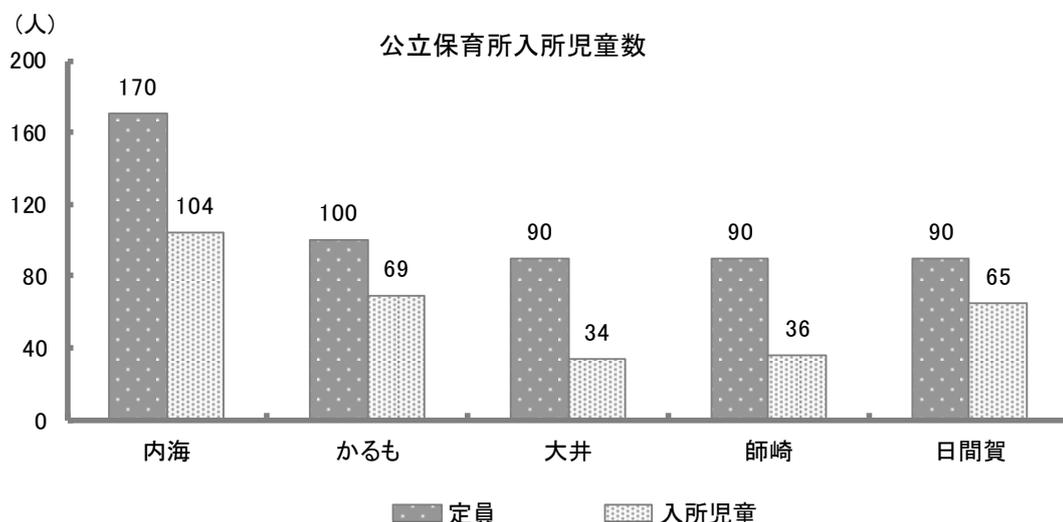


資料：庁内資料（各年度4月1日現在）

(2) 公立・私立保育所の状況

①公立保育所の定員と入所児童数

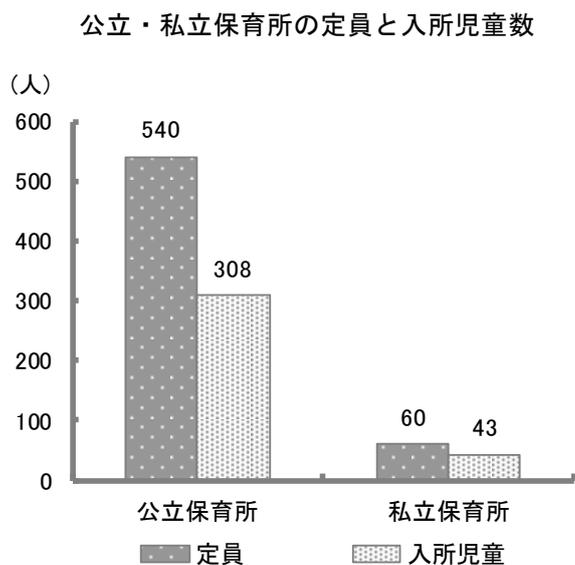
本町の公立保育所の定員と入所児童数はともに、内海保育所で定員が170人、入所児童数が104人と最も多く、次いで、かるも保育所、日間賀保育所となっています。



資料：庁内資料（平成31年4月1日現在）

②公立・私立保育所の定員と入所児童数

本町の公立保育所と私立保育所の定員と入所児童数を比較すると、公立保育所の定員は私立保育所の9倍で540人、公立保育所の入所児童数は私立保育所の入所児童数の約7倍で308人となっています。

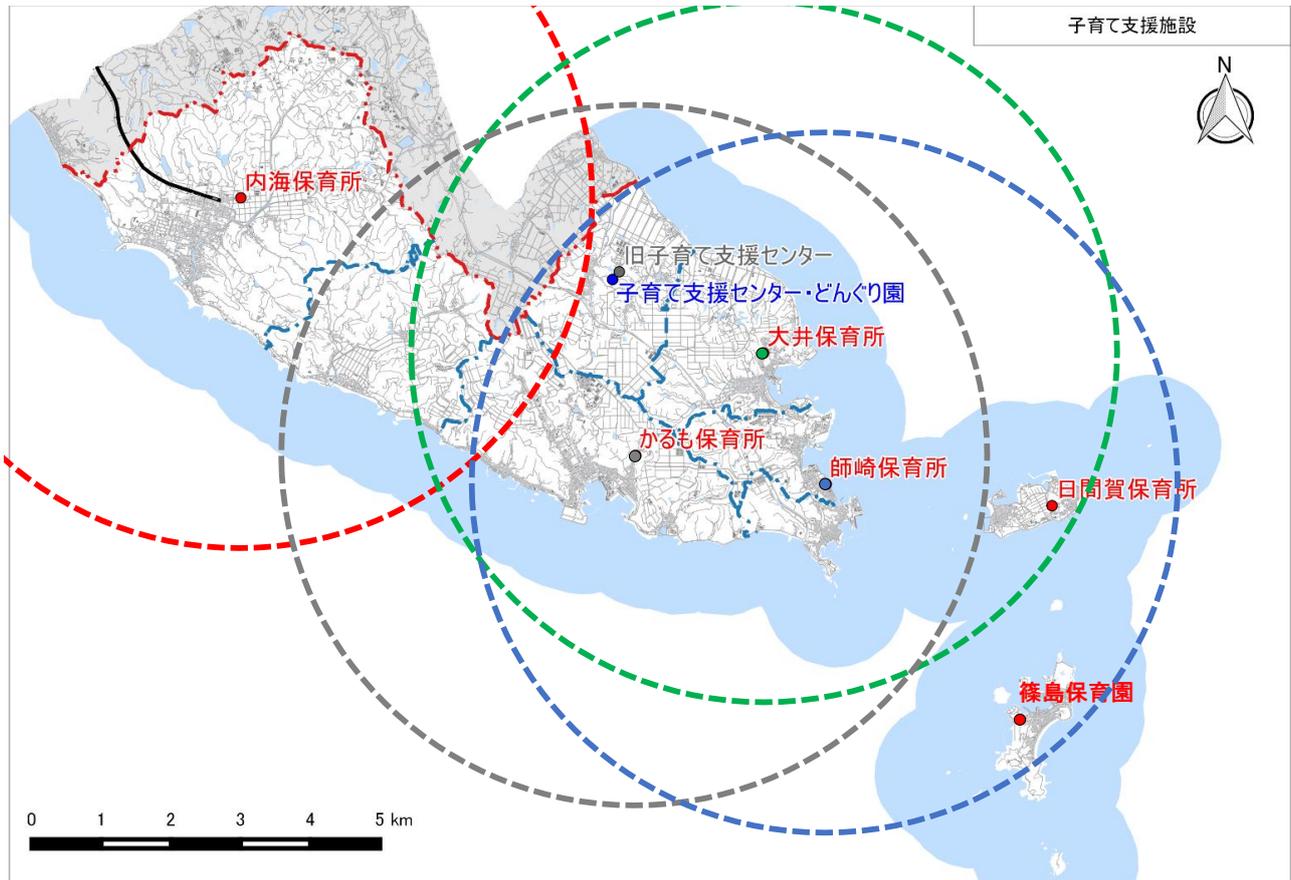


資料：庁内資料（平成31年4月1日現在）

2 各保育所の配置状況と通園距離について

アンケート調査結果では、優先して預けたい保育所がある場合の送迎可能距離は「5km～10km」の割合が最も高くなっています。

下記の図は、各保育所から半径5kmの円を描いたものとなっており、優先して預けたい保育所がある場合の送迎可能距離である5km圏内を示しています。



3 教育・保育ニーズ量の将来推計

(1) 将来人口の推計

0歳から5歳までの子どもの人口を平成27年から平成31年の3月末の住民基本台帳の人口を基にコーホート変化率法により推計しました。

単位：人

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
0歳	69	67	63	61	58	56	54	52
1歳	62	70	68	63	61	58	56	54
2歳	80	62	71	69	63	61	58	56
3歳	84	81	63	72	70	64	62	59
4歳	88	84	80	62	71	69	63	61
5歳	111	89	85	80	62	71	69	63
合計	494	453	430	407	385	379	362	345

	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度	令和 14年度	令和 15年度	令和 16年度
0歳	50	48	46	44	43	41	40
1歳	52	50	48	46	44	43	41
2歳	54	52	50	48	46	44	43
3歳	56	54	52	50	48	46	44
4歳	58	56	54	52	50	48	46
5歳	61	58	56	54	52	50	48
合計	331	318	306	294	283	272	262

※コーホート変化率法：同年または同期間の過去における実績人口の動態から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。

(2) 保育所の見込み入所児童数について

令和2年3月に策定された「第2期南知多町子ども・子育て支援事業計画」において、令和2年度から令和6年度までの全町の保育所の見込量が算出されています。

この見込量を基に、各保育所の令和2年度から令和6年度までの見込み入所児童数を算出しました。

なお、1号教育認定（3歳児以上児）については、本来幼稚園または認定こども園に入所すべき児童となりますが、町内には教育施設がないため、当面の間は保育所での特別利用保育で対応するため入所児童数として計上しています。

令和2年度から令和6年度までの保育所の見込み入所児童数

単位：人

	1号認定 (3歳以上児)	2号認定 (3歳以上児)	3号認定(3歳未満児)		合計
			1・2歳児	0歳児	
令和2年度	64	214	31	5	314
令和3年度	58	192	29	5	284
令和4年度	52	172	31	5	260
令和5年度	48	162	29	5	244
令和6年度	46	154	29	5	234

令和2年度から令和6年度までの各保育所別の見込み入所児童数

単位：人

	内海	かるも	大井	師崎	日間賀	篠島	合計
令和2年度	93	62	30	32	58	39	314
令和3年度	84	56	28	29	53	34	284
令和4年度	77	52	25	27	48	31	260
令和5年度	72	48	24	25	45	30	244
令和6年度	69	45	23	24	44	29	234

※ 1号認定 満3歳以上の学校教育のみの就学前児童（保育の必要性なし）

※ 2号認定 満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前児童（保育を必要とする子ども）

※ 3号認定 満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前児童（保育を必要とする子ども）

1 基本的な考え方

町内の保育所では、6施設中5施設が築後30年以上を経過し、一部の施設では老朽化が顕著となっています。その一方で、全ての園で定員割れが生じている状況であり、このままの状況では少子化に伴う保育所入所児童の減少がさらに進むことが予想されます。

今後も就学前児童への安全・安心な教育環境・保育環境を提供していくためには、今後の人口推移と教育・保育の需要と供給のバランスを考慮した上で、計画的に施設の長寿命化、更新および統廃合等を行う必要があります。

一方、本町の財政状況については、人口減少や少子高齢化の進行による税収の減少や社会保障関連経費等が増加すると見込まれることから、今後ますます厳しいものになることが予想されます。

これらを踏まえて、本計画は「南知多町公共施設等総合管理計画」の「長期的な視点に立ち、本町が保有する公共施設等の効率的かつ効果的な管理及び運営と財政負担の軽減及び平準化を図る」という考え方にも対応していく計画とします。

なお、本計画の前提は、民間事業者による新たな保育所等の整備が行われないことや施設整備用地、保育人材、多額の財源の確保も前提となります。

また、今後の教育・保育ニーズに応じて必要な場合は、民間事業者の協力も得ることが教育環境・保育環境の充実につながるものと考えています。

2 施設整備の進め方

施設整備の進め方については、本計画期間内においては、次のとおり考え方を整理します。

(1) 施設配置の考え方

更新施設の配置については、基本的に現敷地内とし、現敷地内での配置が困難な場合は近隣に整備用地を確保した上で配置します。さらに、それが困難な場合は、近隣の保育所等との地理的なバランスを考慮しながら同一地域への移転を検討します。

(2) 施設整備の視点について

今後、施設整備を進めていくうえで、「南知多町公共施設等総合管理計画」に基づき、かつ下記の視点を考慮し、整備計画を検討していきます。

一般的に鉄筋コンクリート造建築物であれば、50～60年は使用できると言われており、法定耐用年数は事務所用であれば50年と定められていますが、当該年数は減価償却のための年数であり、物理的な耐用年数はこれより長く、建物の状態にもよりますが、更なる長寿命化は可能と考えます。

耐用年数と施設の状況を総合的に勘案したうえで、効果が見込まれる施設については長寿命化改修の実施を検討します。

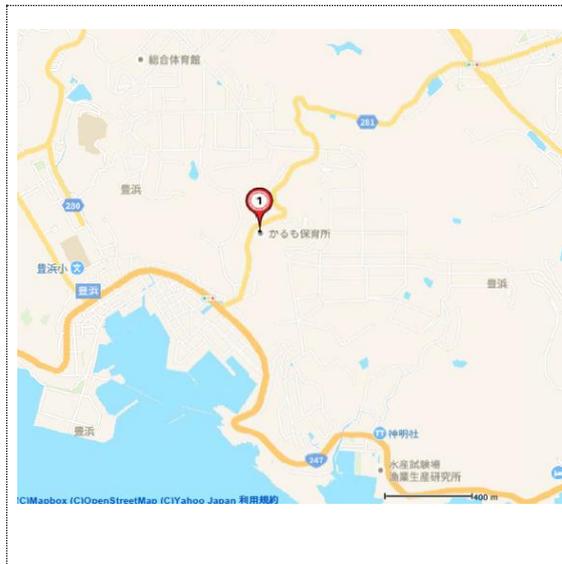
- 各保育所の将来推計による今後の児童数
- 立地状況
- 施設の老朽度

3 保育所別の状況と具体的方向性

本計画の策定に当たっては、保育所単位で保育所の見込量の需要と供給のバランスを分析し、保育所の今後の方向性を検討しました。

(2) かるも保育所

【地区図】



【かるも保育所の特徴・課題】

- ・定員数に対する見込量の差は大きいものの、他の2つ島の保育所（日間賀、篠島）を除いた4つの保育所の中では、入所率が最も高い保育所となっている。
- ・昭和54年3月に開設され、40年が経過しており、平成30年度に外部及び内部改修を行ったが、今後も改修工事を行っていく必要がある。
- ・周辺道路及び駐車場が狭いため、登降時に混雑する。
- ・優先して預けたい保育所がある場合の送迎可能距離5km圏内に、大井、師崎保育所とも網羅することができる。
- ・土砂災害警戒区域に指定されている。

【見込み入所児童数の推計】

(単位：人)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
児童数 (A)	62	56	52	48	45
定員数 (B)	100	100	100	100	100
差引 (A) - (B)	-38	-44	-48	-52	-55
入所率	62.0%	56.0%	52.0%	48.0%	45.0%

【保育所の今後の方向性】

平成30年度に外部及び内部の大規模改修を実施しており、入所率が高いことから、ここ15年程度は現状を維持していく方針です。建築後50年が経過する中期計画では、耐用年数や児童の見込み及び他の保育所の状況を見ながら内部を中心とした改修工事の実施を検討します。

今後、他の保育所の入所状況を見ながら、長期計画では、統合等も検討していきます。

【短期計画（5年以内）】

- ・現状維持

【中期計画（5～15年以内）】

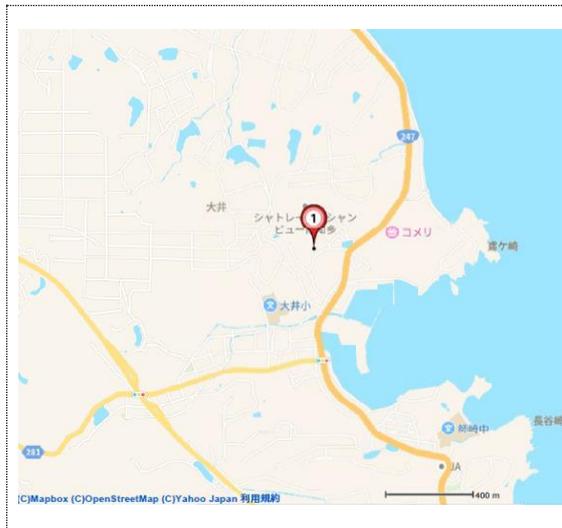
- ・改修工事を実施し、長寿命化を図る。

【長期計画（15年以上）】

- ・入所状況を見ながら、他保育所（大井保育所等）との統合新設を検討

(3) 大井保育所

【地区図】



【大井保育所の特徴・課題】

- ・現在、入所人数が最も少ない保育所となっている。
- ・見込量についても、少ない状況となっており、入所率も20%台となっている。
- ・周辺道路及び駐車場が狭いため、登降時に混雑する。
- ・土砂災害警戒区域に指定されている。

【見込み入所児童数の推計】

(単位：人)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
児童数 (A)	30	28	25	24	23
定員数 (B)	90	90	90	90	90
差引 (A) - (B)	-60	-62	-65	-66	-67
入所率	33.3%	31.1%	27.8%	26.7%	25.6%

【保育所の今後の方向性】

入所率が低く、今後も見込量が少ないことから、他の保育所（師崎保育所）と統合を行っていきます。大井保育所は津波浸水区域外にあるため、統合は大井保育所とし、必要な修繕を行います。

建築後35年以上が経過する中期計画では他の保育所の状況を見ながら、内部を中心とした改修工事の実施を検討します。

また、今後、他の保育所の入所状況を見ながら、長期計画では、統合等も検討していきます。

【短期計画（5年以内）】

- ・師崎保育所との統合に向け修繕（令和2年度予定）
- ・師崎保育所と統合（令和3年度予定）

【中期計画（5～15年以内）】

- ・改修工事を実施し、長寿命化を図る。

【長期計画（15年以上）】

- ・入所状況を見ながら、他保育所（かるも保育所等）との統合を検討

(5) 日間賀保育所

【地区図】



【日間賀保育所の特徴・課題】

- ・昭和48年2月に開設され、46年が経過しており、また木構造となっており、老朽化が進んでいる。
- ・今後、就学前児童数の減少に伴い、見込量も減少していく推計となっている。
- ・定員数に対する入所率については、年々減少する推計となっているものの、40～50%台程度となっている。
- ・駐車場がないため、登降時に混雑する。
- ・日間賀島で比較的高台に建設されているため、津波被害等の影響は受けにくい。

【見込み入所児童数の推計】

(単位：人)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
児童数 (A)	58	53	48	45	44
定員数 (B)	90	90	90	90	90
差引 (A) - (B)	-32	-37	-42	-45	-46
入所率	64.4%	58.9%	53.3%	50.0%	48.9%

【保育所の今後の方向性】

島唯一の保育施設であるため、日間賀保育所は現状を維持していく方針です。

一方で、木造建築であることや開設して50年が経過することから、老朽化が進み、建て替えが必要であると考えており、中期的に検討を行っていきます。

【短期計画（5年以内）】

- ・現状維持

【中期計画（5～15年以内）】

- ・老朽化に伴う、建て替えを検討、実施
- ・離島という特殊性を考慮し、職員確保及び老朽化に伴う園舎の整備手法について民営化を含め、最も合理的な運営方法の検討を行う。

【長期計画（15年以上）】

- ・島内での保育施設を維持する。

4 施設ごとの年次整備計画

「第4章 3 保育所別の状況と具体的方向性」を踏まえ、次のとおり年次的に整備を計画します。

施設名	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度以降	備考
内海保育所	改修 →										内部改修（他保育所との時期を みながら検討） →					建替 等 検討	
かるも保育所					内部改修（他保育所との時期を みながら検討） →					改修（他保育所との時期をみながら検討） →					統合 新設 検討		
大井保育所	改修 統合 →									改修（他保育所との時期をみながら検討） →							
師崎保育所	統合 →																
日間賀保育所																	

5 年次整備計画以外の整備について

本計画では、施設ごとの年次整備計画を示していますが、これ以外にも施設を運営や維持管理していく上で、検討を行っていく必要となる事項があります。

今後、整備計画を検討、実施していくとともに、下記の項目においても、検討を行っていきます。

- 民営化を含めた、今後の保育所の運営主体の検討について
- 認定こども園への移行の検討について
- 各保育所の認可及び利用定員の見直しについて
- 子育て支援センター等の併設を含めた、複合的な施設整備の検討について

6 計画の推進

(1) 町の推進体制

本計画は、福祉課が中心となり、町内保育所をはじめ、本町関係各課が情報を共有し、連携調整を図りながら推進します。

(2) 計画の柔軟性の確保

本計画の推進にあたっては、その前提として施設整備用地や保育人材、多額の財源の確保が必要となります。

本計画の見直す時期については、これらの前提となる条件・社会経済情勢の変化や、民間事業者による保育所等の整備が行われ、教育・保育サービスの必要量が確保されれば、需要と供給のバランスを考慮して、計画を適宜見直します。

こうしたことから、本計画には柔軟性を確保する必要があります。

南知多町保育所再配置計画

発行日：令和2年3月

発行：南知多町 厚生部 福祉課

住所 〒470-3495 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪 18

電話：(0569) 65-0711(代表)